

LicenseManager リリースメ モ



- ■Windows, Windows Server, Microsoft Azure, Microsoft Excel, Internet Explorer および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ■UNIX は、The Open Group が独占的にライセンスしている米国ならびにほかの国における登録商標です。
- ■HP-UX は、米国 HP Hewlett Packard Group LLC の商標です。
- ■AIX は、米国 IBM Corporation の商標です。
- ■Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ■Oracle Linux, Oracle Clusterware および Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米 国およびその他の国における登録商標です。
- ■Red Hat は、Red Hat,Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■SUSE は、SUSE LLC の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- ■NQS は、NASA Ames Research Center のために Sterling Software 社が開発した Network Queuing System です。
- ■SAP ERP, SAP NetWeaver BW および ABAP は、SAP AG の登録商標または商標です。
- ■Amazon Web Services およびその他の AWS 商標は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の米国および その他の国における商標です。
- ■Docker は、米国およびその他の国で登録された Docker, Inc. の登録商標または商標です。
- ■その他、本書に記載されているソフトウエア製品およびハードウエア製品の名称は、関係各社の登録商標または商標です。

なお、本書内では、R、TM、cの記号は省略しています。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウエア)は、外国為替令に定める提供を規制される技術に該当いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の役務取引許可申請等必要な手続きをお取りください。許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

はじめに

本書は、『LicenseManager』の機能の概要等について説明しています。 本書の内容は将来、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

1. Job Director R16.1における制限事項

Job Director R16.1と各マニュアルにおける制限事項を以下にまとめました。各マニュアルにおいて以下の制限事項・非対応機能に該当する記述が存在した場合、本項の内容を優先してください。

■Job Director R16.1の機能制限について

- 1つのJob Director MG/SVに登録できるジョブネットワーク数は、最大で50件です。
- ジョブネットワーク1件について、配置できる単位ジョブの上限は50個までです。
- 複数のJob Director MGを使用してジョブを管理することはできません。
- 対応言語は日本語のみです。英語、中国語には対応しておりません。
- NQSフレームボタンおよび、NQSフレーム画面は使用できません。



NQSフレーム画面に含まれる「キュー一覧」および「リクエスト一覧」は、マネージャフレー ムの「マシン一覧」から対象のマシンを選択して開くことで表示できます。

- UNIX OS(HP-UX、AIX、Solaris)には対応しておりません。
- IPF(Itanium Processor Family、IA-64)には対応しておりません。
- クラスタソフトウェアはCLUSTERPROおよび、Windows Server Failover Cluster(WSFC)に対応します。
 HP Serviceguardおよび、IBM PowerHA、Oracle Clusterwareには対応しておりません。
- SAPの各サービスとの連携機能には対応しておりません。
- WebOTX Batch Server(WOBS)との連携機能には対応しておりません。
- iOS、iPadOS、Safariには対応しておりません。
- コンテナ環境での動作は対応しておりません。
- ACOSとの連携および、ACOS監視機能には対応しておりません。
- SUPER-UXおよび、SUPER-UX NQSとの連携には対応しておりません。
- WebSAM SystemManager Gとの連携機能には対応しておりません。
- Micro Focus Operations Manager softwareおよび、OPCMSG連携機能には対応しておりません。
- UCX Singleジョブ機能には対応しておりません。

■マニュアル内のバージョンの表記について

- 本製品以前に一般販売されたJob Directorは以下のバージョンのみです。本製品(R16.1)および、下記の バージョン以外は提供しておりません。マニュアル内における製品バージョンを限定した記載について は、指定されたバージョンの範囲にこれらのバージョンが含まれている場合のみが該当します。
 - Job Director R12.10
 - Job Director R13.2
 - Job Director R15.1

■ Job Director JD Assistをご利用になる際、Job Director MG/SV が対応する動作モードは以下のとおりです。

動作モード	対応Job Director MG/SVバージョン
Definition 3.0	Job Director MG/SV R12.10
Definition 5.0	Job Director MG/SV R13.2
Definition 7.0	Job Director MG/SV R15.1
Definition 9.0	Job Director MG/SV R16.1

■マニュアルで使用される画像について

マニュアル中で使用されている画面画像について、実際の画面と異なる場合は、実際の表示を正として読み替えてください。

2. 改版履歴

版数	変更日付	項目	形式	変更内容
1	2022/11/20	新規作成	_	第1版

目次

はじめに	. iii
1. Job Director R16.1における制限事項	. iv
2. 改版履歴	. vi
1. LicenseManagerについて	1
2. 必要ディスク容量/メモリ容量	2
2.1. 使用パーティションおよび必要容量	3
2.2. 使用メモリ容量	4
3. Linux版のインストール方法について	5
3.1. ソフトウェアパッケージのインストール	. 6
3.2. LicenseManagerソフトウェアプロダクトの確認	7
3.3. LicenseManagerソフトウェアプロダクトのインストール	. 8
4. Windows版のインストール方法について	9
4.1. ソフトウェアパッケージのインストール	10
4.2. 通常インストール	11
4.2.1. LicenseManagerソフトウェアプロダクトの確認	11
4.2.2. LicenseManagerソフトウェアプロダクトのインストール	11
4.3. サイレントインストール	14
4.3.1. LicenseManagerソフトウェアプロダクトのサイレントインストール	14
5. Linux版パッケージの削除手順	15
5.1. 依存関係にあるプロダクトの確認	16
5.2. 本パッケージの削除	17
6. Windows版パッケージの削除手順	18
6.1. 依存関係にあるプロダクトの確認	19
6.2. 本パッケージの削除	20

1. LicenseManagerについて

本プロダクトは、ライセンス管理用製品です。依存関係にあるプロダクトをインストールする前に、本プロ ダクトをあらかじめインストールしておく必要があります。 2. 必要ディスク容量/メモリ容量

2.1. 使用パーティションおよび必要容量

LicenseManagerのインストールでは、OSごとに以下のディスクが必要です。

OS	必要容量
Windows	2Mbyte
Linux	/opt 1Mbyte
	/etc 1Mbyte

2.2. 使用メモリ容量

LicenseManagerの各機能の動作には、下記のメモリ容量が必要です。

OS	メモリ使用量
Windows	3Mbyte
Linux	2Mbyte

3. Linux版のインストール方法について

3.1. ソフトウェアパッケージのインストール

インストールには、以下に示す手続きがあります。

■LicenseManagerソフトウェアプロダクトの確認

■LicenseManagerソフトウェアプロダクトのインストール

以下に、LicenseManagerソフトウェアプロダクトのインストール作業の具体的な手順を説明します。

3.2. LicenseManagerソフトウェアプロダクトの確認

インストールを行う前に、LicenseManagerがすでにインストールされていないかどうかを確認します。

1.マシンを立ち上げ、ログイン名「root」でログインします。

login:root ↔

2. 次のコマンドを実行して、LicenseManagerがインストールされているか確認します。

root> /bin/rpm -qa LM ↔

- 3. 何も表示されなかった場合、引き続きLicenseManagerのインストールを行います。
- 4. 次のように表示された場合、表示されているメッセージから、LicenseManagerのバージョンを確認します。

LM-XX-1.i386



XXには、LicenseManagerのバージョン番号が入ります。

■バージョンがR1.10以前の場合

LicenseManagerをバージョンアップしてください。

バージョンアップは、古いバージョンをアンインストールした後に新しいバージョンをインストールする ことで行います。アンインストールの方法は5章 「Linux版パッケージの削除手順」 を参照してくださ い。

3.3. LicenseManagerソフトウェアプロダクトのインストール

LicenseManagerは各プロダクトのメディアに同梱されています。次の手順に従ってインストールしてください。

各製品のメディアより、/tmp配下にパッケージファイルをコピーしたと仮定します。ファイル名は、/tmp/LM としたと仮定します。

1.32ビット版パッケージのインストール

Red Hat Enterprise Linux 6以降では、互換アーキテクチャのサポート用パッケージが存在しておりませんので、以下のパッケージのi686アーキテクチャ版をインストールする必要があります。

∎glibc

■nss-softokn-freebl

SUSE Linux Enterprise Server 12では、互換アーキテクチャのサポート用パッケージが存在しておりませんので、以下のパッケージをインストールする必要があります。

■glibc-32bit

2. 次のコマンドによりインストールを実行します。

root > /bin/rpm -i /tmp/LM ↔

次のメッセージが表示されれば、インストールは正常に終了しています。

****** now installing ******

Installation was successful.

rpmのエラーによりインストールが失敗した場合は、インストーラのログを参照し、Linuxの製品マニュアル 等に従って対処してください。

3. 次のコマンドによりインストール結果を確認します。

root> /bin/rpm -qa LM ↔

次のように表示されればインストールは正常に終了しています。

LM-XX-1.i386



XXには、LicenseManagerのバージョン番号が入ります。

4. Windows版のインストール方法について

4.1. ソフトウェアパッケージのインストール

インストールには、以下に示す手続きがあります。

■通常インストール

- LicenseManagerソフトウェアプロダクトの確認
- LicenseManagerソフトウェアプロダクトのインストール
- ■サイレントインストール
 - LicenseManagerソフトウェアプロダクトのサイレントインストール

以下に、LicenseManagerソフトウェアプロダクトのインストール作業の具体的な手順を説明します。

4.2. 通常インストール

4.2.1. LicenseManagerソフトウェアプロダクトの確認

インストールを行う前に、LicenseManagerがすでにインストールされていないかどうかを確認します。

- 1.マシンを立ち上げ、Administrator権限のあるユーザでログインします。
- 2. コントロールパネルにある [プログラムと機能] 画面を確認し、 [LicenseManager] のエントリーがある かどうかを確認します。
- 3. LicenseManagerが存在しなかった場合は、引き続きLicenseManagerのインストールを行います。
- 4. LicenseManagerがすでに存在していた場合はバージョンを確認します。

[プログラムと機能]画面の[表示(V)]メニューから[詳細表示の設定]を選択して[バージョン]に チェックを入れることで、バージョン情報が表示されます。

バージョンが1.10以前の場合、LicenseManagerのバージョンアップをしてください。

バージョンアップは、古いバージョンをアンインストールした後に新しいバージョンをインストールすることで行います。アンインストールの方法は6章 「Windows版パッケージの削除手順」を参照してください。

4.2.2. LicenseManagerソフトウェアプロダクトのインストール

LicenseManagerは各プロダクトのメディアに同梱されています。次の手順に従ってインストールしてください。

- 1. 各製品のメディアから、パッケージファイル (setup.exeおよびImsetup-x64.msi) をローカルディスク上 の任意の同一フォルダ内にコピーします。ここでは、C:\setup.exeおよびC:\Imsetup-x64.msiにコピーし たと仮定します。
- 2. コピーしたsetup.exeファイルを実行し、LicenseManagerのインストーラを起動します。
- 3. 次のような画面が表示されますので、 [Next>] ボタンをクリックします。



図4.1 インストール初期画面

4. 「Select Installation Folder」画面が表示されます。インストール先のフォルダを決定後、 [Next>] ボタ ンをクリックします。

援 LicenseManager		-	-		Х
Select Installation Fold	er				
The installer will install LicenseManager	to the following folder.				
To install in this folder, click "Next". To	install to a different folder,	enter it below	or clic	k "Brow:	se".
<u>F</u> older: C:¥Program Files¥			Bj	owse	
			<u>D</u> is	k Cost	
Install LicenseManager for yourse	lf, or for anyone who use	es this comp	uter:		
Everyone					
⊖ Just <u>m</u> e					
	Cancel	< <u>B</u> ack		<u>N</u> ext:	,

図4.2 インストール先設定画面



既定のインストール先フォルダを変更する場合には、[Browse…]ボタンをクリックして表示さ れた画面の指示に従ってインストール先のフォル を選択して[OK]ボタンをクリックします。

5.確認画面が表示されます。設定が完了したら [Next>] ボタンをクリックします。

設定内容を変更する場合は、 [<Back] ボタンをクリックし各項目の画面まで戻って設定をやり直します。

🙀 LicenseManager		-		×
Confirm Installation				
The installer is ready to install LicenseManager on y	your computer.			
Click "Next" to start the installation.				
Car	icel	< <u>B</u> ack	<u>N</u> ext	t>

図4.3 確認画面

6. すべてのインストールが完了すると次の画面が表示されます。 [Close] ボタンをクリックしてください。

₩ LicenseManager			-		×
LicenseManager has been successfully Click "Close" to exit.	installed.				-
	Cancel	< <u>B</u> ack		<u>C</u> los	e

図4.4 完了画面



再起動を促すメッセージが表示された場合は、インストールプロダクト起動前に、必ずシステム を再起動してください。

ここまでで「LicenseManager」のインストール作業は完了です。

最後に、インストールが正常に終了したかを確認します。

7. Windowsの [スタート] - [コントロールパネル] で「プログラムの追加と削除」(または「プログラムと 機能」)を実行します。

次の画面例のように「LicenseManager」のエントリーが表示されていれば正常に終了しています。

Ō	li - プログラムと機能						- 0	×	
÷	אילעב א 🗖 א או-םאעב	パネル > プロ	グラム > プログラムと機能		v Ö	li		×	
	コントロール パネル ホーム	プログラ	プログラムのアンインストールまたは変更						
	インストールされた更新プログラムを 表示	プログラム	をアンインストールするには、一覧からプログラム	を選択して [アンインストール]、[変更	톤]、または [修復] をクリックしま	:す。			
•	Windows の機能の有効化または								
	無 <i>物</i> 化	整理 ▼						?	
		名前	^	発行元	インストール日	サイズ	バージョン		
		LicenselV	lanager	NEC Corporation	2022/09/14	1.57 MB	1.11		
			現在インストールされているプログラム	含計サイズ: 2.43 GB					
			5 値のフロクラムかインストールされています						

図4.5 画面例

4.3. サイレントインストール

4.3.1. LicenseManagerソフトウェアプロダクトのサイレントインストール

LicenseManagerは各プロダクトのメディアに同梱されています。次の手順に従ってインストールしてください。



古いバージョンのLicenseManagerがすでにインストールされている場合には、サイレントインストールを実施することで、LicenseManagerのバージョンアップが行われます。

1. Job Directorメディア(DVD-ROM)をセットして、コマンドプロンプトを起動します。コマンドプロンプトは Windowsの[スタート] - [↓] で表示されるアプリー覧から起動できます。

このとき、右クリックメニューの「管理者として実行」を選択して、コマンドプロンプトを起動してください。

2. 次のコマンドでJob Directorのメディアから、パッケージファイル (setup.bat、setup.exe、Imsetupx64.msi)をローカルディスク上の任意の同一フォルダ内にコピーします。ここでは、C:\setup.bat>、C: \setup.exe、C:\Imsetup-x64.msiにコピーしたと仮定します。

C:\> copy "Q:\PACKAGE\LM\WINDOWS\x64" "C:\"

CD/DVD-ROMドライブをQ: ドライブとして説明します。

CD/DVD-ROMドライブを他のドライブ名に割り当てている場合は、適宜読み替えてください。

3. 次のコマンドでカレントディレクトリを変更してください。

C:\> cd C:\



Job Directorのメディアから、パッケージファイル (setup.bat、setup.exe、Imsetupx64.msi)を「C:\」にコピーしたと仮定して説明します。コピー先が異なる場合は適宜読み替え てださい。



必ずパッケージファイル (setup.bat、setup.exe、Imsetup-x64.msi) をコピーしたフォルダに カレントディレクトリを変更してください。

4. 次のコマンドを実行するとインストールが開始されます。

setup.bat [<INSTALL_PATH>]

- ■<INSTALL_PATH>にはインストール先のフォルダを指定します。また、<INSTALL_PATH>は 省略することができます。省略した場合には「C:\Program Files」がインストール先フォル> ダとなります。
 - ■インストールの結果は、カレントディレクトリに作成されるログファイル(Im_install.log)に出 力されます。

インストールが正しく完了すると「Result: Succeeded.」と表示されます。

5. Linux版パッケージの削除手順

以下の手順に従ってパッケージの削除作業を行ってください。

5.1. 依存関係にあるプロダクトの確認

LicenseManagerと依存関係にあるプロダクトがある場合は先にそれをアンインストールしてください。



依存関係にあるパッケージを削除せずにLicenseManagerをアンインストールした場合、依存関係に あるプロダクトの動作に影響を与える恐れがあります。

5.2. 本パッケージの削除

1. ログイン名"root"でログインします。

login:root ↔

2. 次のコマンドを実行してください。本パッケージが削除されます。

root> /bin/rpm -e LM ↔

3. 次のメッセージが表示されれば、本パッケージは正常に削除できています。

******now removing ****** Uninstallation was successful.

6. Windows版パッケージの削除手順

以下の手順に従ってパッケージの削除作業を行ってください。

6.1. 依存関係にあるプロダクトの確認

LicenseManagerと依存関係にあるパッケージがある場合は先にそれをアンインストールしてください。



依存関係にあるパッケージを削除せずにLicenseManagerをアンインストールした場合、依存関係に あるプロダクトの動作に影響を与える恐れがありますので事前確認をお願いします。

6.2. 本パッケージの削除

次の手順に従ってLicenseManagerパッケージの削除を行います。

- 1. マシンを立ち上げAdministrator権限のあるユーザでログインしてください。
- 2. Windowsの [スタート] [コントロールパネル] で「プログラムの追加と削除」(または「プログラムと 機能」)を実行し、次の画面を表示させます。 [削除](または [アンインストール])ボタンをクリックしま す。

0	li - プログラムと機能							- 0	×
÷	> י 🛧 🗖 א- טאעב א	・パネル > プロク	ドル > プログラム > プログラムと機能						
	コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまたは変更							
	インストールされた更新プログラムを 表示	プログラム	をアンインストールするには、一覧か	らプログラムを選択	Rして [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクリックしま	ます。		
•	Windows の機能の有効化または								
	無 <i>物</i> 1℃	整理 ▼							• 🕐
		名前	^		発行元	インストール日	サイズ	バージョン	
		LicenseMa	anager		NEC Corporation	2022/09/14	1.57 MB	1.11	
			現た ハコト 川されていて プロ	//=/	(7, 242.00				
		O	ホローフストールされているフロ 5 個のプログラムがインストールされ	ロククム 合計サイ いています	1 7: 243 08				

図6.1 パッケージ削除画面

3. 次の画面が表示されます。 [はい] ボタンをクリックして、パッケージの削除を行います。



図6.2 パッケージ削除確認画面

4.「プログラムの追加と削除」(または「プログラムと機能」)画面を再度表示し、「LicenseManager」のエントリーが存在しなければパッケージの削除は完了です。

発行年月 Nov 2022 NEC Corporation / SAY Technologies, Inc. 2022